

令和4年3月2日

保護者様

名古屋市立正色小学校長
五 藤 伸 二

「学校教育に関するアンケート」の結果について

「学校教育に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございました。児童・教職員にも同様のアンケートを行いましたので、あわせて結果を掲載いたします。回答のうち、「A：よくあてはまる」を4点、「B：だいたいあてはまる」を3点、「C：あまりあてはまらない」を2点、「D：全くあてはまらない」を1点として集計して平均を出しました。3.0未満のポイントは斜体で表し、昨年調査より0.2ポイントの増減を矢印で示しました。結果は次のとおりです。

※ 質問項目3は学校努力点に関わるもので、前回とは質問内容が異なるため増減の矢印は省略しています。

(児：児童質問項目 保：保護者質問項目 教：教職員質問項目)

	質問項目	低学年	中学年	高学年	保護者	職員
1	児：学習で分からなかったところが、授業で先生に教えてもらって、分かるようになった。 保：お子さんは、授業や学習活動を通して、「学習が分かった」と感じている。 教：児童の様子から、学習活動や指導を通して、「学習が分かった」と感じていることが分かる。	3.7↑	3.4→	3.3→	3.0→	3.2→
2	児：学校で学習したことを「もっと知りたい」「やってみよう」と思っており、自分で進んで学習している。 保：お子さんは、授業や学習指導を通して、「もっと知りたい」「やってみよう」と思い、主体的に学習に取り組んでいる。 教：児童の様子から、「もっとやりたい」「やってみよう」と思い、主体的に学習に取り組んでいることが分かる。	3.6→	3.2↑	3.0→	2.9↑	3.3↑
3	児：友達と学習する中で、新しい考えに気付いたり、自分の考えを深めたりしている。 保教：お子さん(児童)は、友達と学び合い、新しい考えに気付いたり、自分の考えを深めたりしている。	3.5	3.4	3.2	3.0	3.2
4	※児童質問紙のみ、答えやすいように項目を二つに分けました。 児①：学校で病気やけがを予防する方法を知ったり学んだりしている。 児②：学んだことを自分でも気を付けて実行している。 保教：学校は保健指導、感染症予防などを適切に行い、子どもたちの健康保持に努めている。	3.9→	3.3↑	3.3↓	3.4→	3.7→
		3.7→	3.5↑	3.2↓		
5	※児童質問紙のみ、答えやすいように項目を二つに分けました。 児①：学校で、地震や災害から身を守ることや、交通安全について学んでいる。 児②：安全について考えたり、学んだことを自分で実行したりしている。 保教：学校は防犯・防災指導、交通安全指導を適切に行い、子どもたちの安全確保に努めている。	3.4↓	3.8↑	3.8→	3.3→	3.8→
		3.7→	3.2→	3.3→		
6	児：学習、学校生活、友達のことなど、悩んでいることや困っていることを先生に伝えることができている。 保教：学校は、日頃の学校生活や教育相談やアンケートを通して、子ども(児童)の悩みを理解し、相談にのっている。	3.5→	3.2→	2.9↓	3.1→	3.9↑
7	保教：学校は必要な時にお子さん(児童)の様子を伝え、保護者からの相談にのったり、情報交換をしたりしている。				3.1→	3.4→
8	児：家族や先生、友達、地域の人に挨拶をしている。 保教：お子さん(児童)は、「おはようございます」「ありがとうございました」など、校内や校外で挨拶ができています。	3.7→	3.5→	3.3↓	3.0↓	2.7↑
9	児：規則正しい生活をする、時間を守って行動する、遅刻をしない、時間を守って行動する、自分で持ち物を準備する、忘れ物をしない、家庭学習(宿題など)をするなどができている。 保教：お子さんは(児童)は、規則正しいリズムで生活する、宿題をする、自分で学校の持ち物を準備する、忘れ物をしない、遅刻をしない、時間を守って行動するなど基本的な生活習慣が身に付いている。	3.4→	3.3→	3.1→	3.0→	2.8→
10	児：学校のきまりを守って生活している。 保教：お子さん(児童)は、学校のきまりを守って、学校生活を送っている。	3.7↑	3.5→	3.4→	3.3→	3.0↓

～アンケートの結果から～

- ① 項目2は前回調査より全体的にポイントが上がっています。特に中学年では、0.4ポイント上昇しました。学校努力点での「個別学習」「プロジェクト学習」の取組の効果が出ていると考えます。今後も、児童が主体的に学習できるような授業づくりと目指していきます。
- ② 項目3は、本年度の新たな項目ですが、3.0を上回るポイントとなっています。教師から児童への一方的な授業を改善し、友達と学び合う中で、学びがより深まるよう学習活動を進めていきたいと考えています。また、学習活動の様子が保護者や地域の皆様によりお伝えできるようにしていきたいと考えます。
- ③ 項目5では、中・高学年で、学校で安全に学んでいる実感についてはポイントが高いものの、日頃の生活の中で実行することについてはややポイントが低い結果となりました。学んだことを生活に生かせるよう、校内や家庭で日頃から話題にしたり声を掛けたりすることが大切だと考えます。
- ④ 項目6については、前回調査よりポイントは下がっていませんが、職員のポイントと比べ、児童や保護者のポイントは低い結果となりました。特に高学年のポイントが低いです。本校では、相談ポストの設置や年2回の教育相談に加え、毎月16日の「こころの日」に学校独自のアンケートを行い、担任が児童の悩みに相談にのる取組をしていますが、それだけでは、本音を伝えにくいこともあるのかもしれませんが、担任以外の職員も全校児童のことをよく知っているという小さな学校ならではの良さを生かし、担任以外の職員に相談したり、スクールカウンセラーと話したりする機会を設け、「いつでも誰かに相談できる」学校づくりをしていきたいと考えます。
- ⑤ 項目8、9については、保護者、職員ともに比較的低いポイントとなりました。挨拶については、児童の結果から、挨拶する気持ちはあるように見受けられます。相手に伝わるように挨拶ができるよう、日頃から指導をしていきます。ご家庭でも、家族や地域の方に挨拶をするなど声掛けをお願いします。また、基本的な生活習慣については個人差がありますが、生活習慣を身に付けられるよう周りの大人が助言をしたり、環境を整えたりすることも必要だと考えます。家庭と協力しながら支援をしていきたいと考えます。

自由記述欄でのご意見の一部を紹介します。

「一色大橋を渡った後、学校までの通学路が小道な為、人の目が入りづらく、犯罪につながる可能性がある。又、ブロック塀が多い為、地震で倒壊する可能性がある。」

「正色学区は外遊び・ボール遊びができる場所が少ないので、ぜひ運動場を開放してもらいたい。」

「分団登校時に、ご近所の方が挨拶をしても、子どもたちが挨拶をしない。」

「子どもの姿勢の悪さを感じています。」

「コロナの影響で難しいが、正色は少人数の学校で、中学校に上がる時に五反田と一緒にになるので、2校が交流をもてると中学で一緒になった時になじみやすくなるのではないか。」

たくさんのご貴重なご意見ありがとうございました。ご意見は真摯に受け止め、保護者、地域の方々、関係機関と協議の上、改善を図りたいと考えます。学校の開放につきましては、防犯、安全管理上の観点から、開放はできませんので、ご理解ください。

これからも児童が安心して学校に通い、充実した学校生活を送れるよう、職員一同努めて参ります。今後とも、学校教育活動にご理解とご協力のほどよろしく申し上げます。